

# 平成 2 4 年 度 事 業 報 告 書

(平成 2 4 年 4 月 1 日 から平成 2 5 年 3 月 3 1 日 まで)

## 1 主要な会議 (1) 理事会

区 分	開 催 日	議 案 等
第 1 回	平成24年 4 月 5 日	①事務局長及び重要な職員の任免について
第 2 回	平成24年 5 月 18 日	①平成23年度事業報告及び決算(案)について ②平成24年度の事業計画(案)及び収支予算(案)について ③規程関係について ・公益財団法人屋久島環境文化財団理事会運営規則(案) ・公益財団法人屋久島環境文化財団資産運用規程(案) ・公益財団法人屋久島環境文化財団財務規程(案) ・公益財団法人屋久島環境文化財団情報公開規程(案) ・公益財団法人屋久島環境文化財団事務決裁規程(案) ④公益財団法人制度改革に伴う公益財団法人への移行時の基本財産について ⑤定時評議員会の開催について 〈報告事項〉 ①理事及び評議員の異動に伴う評議員会の選任について(評議員会の決議の省略)
第 3 回	平成24年10月30日	①平成 2 4 年度収支予算書(補正案)の件 〈報告事項〉 ①平成 2 4 年度事業報告の件 ②屋久島環境文化財団設立 2 0 周年記念事業の件 ③理事の選任に係る書面表決の件
第 4 回	平成25年 2 月 1 日	①平成 2 5 年度事業計画(案)及び収支予算(案)の件 ②平成 2 5 年度資金運用の執行方針及び計画(案)の件 ③財務関係規程制定の件 ・屋久島環境文化村中核施設情報機器更新準備資金取扱規程(案) ・屋久島環境文化村中核施設開館20周年記念事業準備資金取扱規程(案) ・屋久島環境文化村中核施設展示機器更新準備資金取扱規程(案) ・屋久島環境文化財団出版物(図説屋久島更新)準備資金取扱規程(案) ・屋久島環境文化財団出版物(ガイドブック更新)準備資金取扱規程(案) ④評議員会の開催の件 〈報告事項〉 ①財団設立 2 0 周年記念事業の件
第 5 回	平成25年 3 月 28 日	①平成 2 5 年度第 1 回評議員会の開催の件

## (2) 評議員会

区 分	開 催 日	議 案 等
第 1 回	平成24年 5 月 1 日	① 理事・評議員の異動に伴う書面表決(書面同意)について
第 2 回	平成24年 6 月19日	① 公益財団法人屋久島環境文化財団評議員会運営規則制定の件 ② 平成23年度事業報告及び決算について承認を求める件 ③ 役員等の費用の支給に関する規程制定の件 <報告事項> ① 平成24年度の事業計画及び収支予算報告の件 ② 書面表決による理事及び評議員の選任結果報告の件
第 3 回	平成24年 7 月15日	① 公益法人制度改革に伴う公益財団法人への移行時の基本財産に係る定款変更について
第 4 回	平成24年 8 月 1 日	① 理事の選任に係る書面表決(書面同意)について
第 5 回	平成25年 2 月12日	① 理事及び評議員の選任の件 <報告事項> ① 平成25年度の事業計画及び収支予算報告の件 ② 平成25年度の資金運用の執行方針及び計画報告 ③ 財団設立20周年記念事業の件

## 2 事業報告

### 【公益目的事業】

#### (1) 環境学習事業

##### ① 自主事業

ア 自然・文化体験セミナー「屋久島感動めぐり」まるごと屋久島体験  
 広く全国から参加者を募り、自然を体験したり環境文化を学ぶため、屋久島のフィールドを活用した自然観察や島内の方々との交流等を行った。

名 称	実 施 内 容	実 施 時 期	参加者
屋久島 うろうろ 春さがし	(最小催行人数に満たず中止)	平成24年4月20日～22日	一人
見どころ満載ぐるっと屋久島	屋久島一周自然体験&集落散策ツアー	〃 4月28日	30人
家族で楽しむ昔々の山々	太忠岳, 集落散策, 漁船体験	〃 5月3日～5日	10人
水と旅する夏の島	(最小催行人数に満たず中止)	〃 7月13日～16日	一人
集まれ! わんぱく夏遊び	沢下り, 屋久杉ランド, 川エビ取り, 団子作り	〃 8月9日～11日	19人
島に伝わる伝統文化体験	(最小催行人数に満たず中止)	〃 9月14日～17日	一人
芸術で楽しむ屋久島の秋	黒味岳登山, 淀川小屋泊, 春牧集落散策	〃 11月22日～25日	10人
特産探しの屋久島の旅	農家体験, 集落無人市&散策他	平成25年2月8日～11日	4人
計	5回		73人

#### イ 里のエコツアー

広く全国から参加者を募り、自然環境に負荷を与えない屋久島の里地の暮らしや伝統文化等について体験できるエコツアーを新たに行った。

名 称	実 施 内 容	実 施 時 期	参加者
のんびりゆったり里のエコツアー①	口永良部島散策, 郷土料理, 歴史探訪	平成24年 5月26日～27日	17人
のんびりゆったり里のエコツアー②	春牧集落散策, 郷土料理, 産業体験	〃 7月1日	5人
計	2回		22人

#### ウ ふるさとセミナー

島内の方々を対象に、屋久島の身近な自然を素材にしてふるさとの新たな一面を発見し、自然のすばらしさを学ぶための体験型研修を行った。

名 称	実 施 内 容	実 施 時 期	参加者
研修センターオープンデー	金環日食メガネ作り, 理科実験他	平成24年5月20日	241人
計	1回		241人

#### エ 星空観察会

星座や宇宙への関心を高めるため、島内各地で季節ごとの星空観察を行った。

名 称	実 施 時 期	参加者
春の星空観察会 (一湊小学校)	平成24年 4月14日	49人
夏の星空観察会 (安房小学校)	〃 7月16日	103人
秋の星空観察会 (八幡小学校)	〃 11月2日	113人
計	3回	265人

#### オ 自然に親しむ集い

環境省、屋久島町と共催で、屋久島の身近な自然のすばらしさを学ぶため、島内の方々を対象に自然観察活動や自然体験活動を行う。

名 称	実 施 内 容	実 施 時 期	参加者
屋久島の花こう岩	早崎鉦山跡他(雨天中止)	平成24年6月24日	一人
計	1回		一人

### ② 環境学習受入事業

財団が作成した学習プログラムを活用して宿泊研修、一日研修、短時間研修を行うグループの受入れを行った。

区 分	団体数	延べ参加者
宿 泊 研 修	67団体	5,366人
一 日 研 修	32団体	928人
短 時 間 研 修	7団体	208人
合 計	106団体	6,502人

### ③ 人材養成事業

エコツアーガイドの育成，資質向上を図るため，ガイドセミナーを行う。

名 称	実 施 時 期	参加者
日本赤十字救急法救急員養成講習会	平成25年1月16日～18日	14人
屋久島ガイドセミナー	〃 1月28日～30日	9人
計	2回	23人

### ④ 屋久島子どもエコ隊活動事業

屋久島の小学校4～6年生を対象に，体験的な環境学習を通して，自然環境に対する意識の向上を図り，屋久島の未来を担う「屋久島子どもエコ隊活動事業」を実施した。

実 施 日	内 容	参加者
平成24年6月2日 ～ 3日	・世界遺産センター，屋久杉自然館 見学・春牧集落散策・フォトスタン ドづくり	小学生12人
平成24年8月2日	・森の生き物観察 ・昆虫標本づくり体験	小学生10人
平成24年12月2日	・クリスマスツリーづくり ・松ぼっくりツリーづくり ・生物多様性ピラミッドづくり	小学生16人
平成25年2月3日	・自然エネルギー講座 ・電気自動車試乗	小学生10人
計	4回	小学生48人

### ⑤ 屋久島関連論文等データベース化事業

屋久島関連の研究者の資料収集やデータベース化の準備を行い，内容の充実と研究講座等への招聘に活用した。また，研究者との連携を推進するために，メーリングリストの活用を図った。（平成25年3月末現在メーリングリスト登録者数：21人）

### ⑥ 屋久島高校環境学習支援

自然の中で行われる学習活動（屋久島でのエコツアーリズム，屋久杉の植生・利用の歴史調査等）を通じて，屋久島の自然環境への理解を深めたり，人と自然の関わりを考えることを目的に，屋久島高等学校環境コースの生徒の宿泊研修に対し支援を行った。

また，「縄文杉」とニュージーランド「タネマフタ」との姉妹木盟約締結を契機に交流を行っている高校生，中学生のニュージーランド派遣旅費の一部を，町を通して支援を行った。

名 称	実 施 時 期	参加者
夏 季	平成24年7月18日～19日	生徒11人
コアSSH研究会	平成24年8月17日～18日	生徒 1人
ニュージーランド派遣	平成24年7月26日～8月14日	生徒 6人
秋 季	平成24年10月25日～10月26日	生徒10人
冬 季	平成25年1月24日～1月25日	生徒11人
計	5回	生徒39人

⑦ 学校教育の支援

屋久島についての理解を深めてもらうため、町内の小学校の教育課程における補助教材(4年生用)として、財団が出版している「図説屋久島」を町教育委員会へ200冊を寄贈し活用してもらった。

なお、寄贈は24年度～26年度までの3年度計画で、最終的に小学校4年生から6年生の環境学習等の授業の補助教材として活用されることになっている。

⑧ 屋久島研究講座

島内の方々を対象に、屋久島についての理解を深めてもらうため、屋久島について調査研究した内容を講義形式で発表する屋久島研究講座を実施した。

回	講演日	演 題	講 師	場 所	参加者
1	7月7日	野草を食べる	川原勝征	研修センター (視聴覚室)	72人
2	8月25日	屋久島の海岸貝類相とその多様性 真辺広明 貝類標本40年の収集成果 海から見た沖縄の渚	名和 純 手塚賢至 真辺広明	文化村センタ ー(映像ホー ル)	80人
3	11月17日	越境大気汚染による屋久島の大气 ・水環境に今、何が起きているか	永淵修 阿久根卓 尾坂兼一 横田久美子 本間知夫 三宅隆之	文化村センタ ー(映像ホー ル)	111人
4	3月23日	種子島・屋久島・口永良部島－異 質と同質－	根建心具	文化村センタ ー(映像ホー ル)	68人
	計	4回			331人

⑨ 出張屋久島研究講座

島内の団体を対象に、屋久島の自然や文化に対する認識を深めるため、講師を直接地域に派遣し講演を行った。

実 施 日	内 容	対象者	参加者
7月8日	野草を食べる(採集, 料理, 試食) (講師 川原 勝征)	春牧区民	30人
10月2日	屋久島の自然環境ほか	中央中学校	88人
2月3日	ネイチャーフォレストスタンドづくり	宮浦小学校	38人
計	3回		156人

(2) 環境形成事業

① 環境保全普及啓発

環境省が作成したマナービデオの中核施設内の放映や、マナーガイド・リーフレットの配布を行った。

② 山岳部利用対策

屋久島山岳部車両運行対策協議会が、環境保全と荒川登山口の混雑緩和のため3月1日～11月30日(275日)までの期間、荒川三叉路から荒川登山口までの一般車両

の終日乗り入れ規制及び屋久杉自然館前～荒川登山口間の「荒川登山バス」を運行するに際し、協力・推進するとともに、縄文杉周辺等でマナー指導、パトロールを実施した。

また、山岳部トイレのし尿処理問題に関し、携帯トイレの利用促進のためのリーフレットを配布したほか、山岳部トイレのし尿処理費用を屋久島を訪れた方々に負担してもらう「屋久島山岳部保全募金(募金額：一口500円)」について関係機関と連携を図りながら募金・広報活動を行った。

### ③ 環境保全活動支援

自然共生社会づくりを推進するため、屋久島まるごと保全協会、屋久島・ヤクタネゴヨウ調査隊、屋久島町、当財団の四者で設立している「屋久島生物多様性保全協議会」に参加し、屋久島の絶滅危惧種等の貴重植物の現況分布調査や生物多様性保全に関する普及啓発の会議等を行った。

環境保全の意識向上のための啓発運動等に取り組んでいる島内の団体等に対する支援や屋久島の生物や環境保全をテーマに調査・研究する研究者に対し、新たに助成を行った。

事業区分	団 体 名	事 業 内 容
①	屋久島町	ヤクシカの個体数管理(くくり罠65基)
②	九州大学 吉田茂二郎	ヤクスギ天然林の分布の推定
	屋久島まるごと保全協会 手塚賢至	絶滅危惧種・貴重種分布調査
	総合地球環境学研究所 幸田良介	ヤクシカの増減要因、食性、採食行動の解明
	北海道大学 寺田千里	ヤクシカの遺伝的多様性の評価
	屋久島町立八幡小学校	知ろう！守ろう！屋久島

※事業区分：①野生生物生息環境保全等対策支援事業 ②屋久島生物多様性保全研究活動奨励事業

### ④ 自然保護活動

#### ア うみがめ保護

うみがめの産卵環境を保護するため遮光林の植栽・維持管理や海岸清掃を行った。

- ・遮光林維持管理・海岸清掃

委 託 先	実 施 場 所
NPO法人屋久島うみがめ館	永田いなか浜、一湊一ツ浜・二ツ浜

- ・マリンワーカー事業

環境省から受託して、ウミガメの繁殖環境を良好に保持するため、島内の海岸清掃を地域の方々と共同で実施した。

実 施 団 体	実 施 場 所
NPO法人屋久島うみがめ館	永田浜(いなか浜, 前浜, 四ッ瀬浜) 一湊(一ツ浜, 二ツ浜, シビワシ)
岳南スポーツ少年団	中 間 浜
栗生バレーボールスポーツ少年団	栗 生 浜
財 団 直 営	田 代 海 岸

・海岸清掃

実施日	実施場所	延べ人数
平成24年6月3日 (海祭り海岸清掃)	世界環境デーinいなか浜	180人

- イ 屋久島の動植物の調査等事業  
「屋久島の昆虫ガイドブック」改訂版発行。

**(3) 交流推進事業**

**① 情報の収集・提供**

- ア 財団会報「屋久島通信」(A4版, 12ページ)の発行(9,000部)  
全国の屋久島ファンクラブ会員等に対して, 屋久島の情報を提供した。

号数	発行時期	内容
第51号	平成24年7月	屋久島とシロアリの関係 他
第52号	平成24年11月	生物多様性保全協議会 2112
第53号	平成25年3月	財団20年の歩み

- イ 財団機関紙「まるりん通信」の発行(6,500部)  
毎月1回島内の全戸に配布し, 財団の活動状況を紹介するとともに, 中核施設への来館, イベントへの参加を呼びかける情報発信を行った。

**② 財団ホームページの運用**

財団ホームページにより屋久島と財団の情報を島内外に発信するとともに, 更に情報発信機能や情報を充実させるため, 現在検討中である。

**③ 屋久島ファンクラブの運営・加入促進**

財団の活動を支援・協力していただくファンクラブ会員に「屋久島通信」による情報提供を行った。

また, 屋久島ファンクラブへの加入促進や財団のPR等を行う「宣伝大使」の制度を活用し, 出郷者会員を中心に会員増などに努めた。

ファンクラブ会員数	868人	(25年3月末現在)
うち会費自動振込利用者数	74人	
24年度新規加入者数	155人	

**④ ボランティアネットワークの構築・運用**

- (ア) 屋久島の環境保全活動等に協力していただける人々を登録する環境文化ボランティア制度の周知に努めるとともに, 島内でのボランティア活動を行った。

ボランティア登録者数25人(25年3月末現在)

活動状況

開催日	活動内容	参加者	主催者
平成24年6月3日	世界環境デーinいなか浜	4人(180人)	NPO法人屋久島うみがめ館
平成24年8月30日	田代海岸清掃	3人(20人)	財団
平成24年12月2日	ヤクタネゴヨウ保全作業	3人(21人)	屋久島生物多様性保全協議会
計	3回	10人(221人)	

※ ( ) は全参加延べ人数

#### ⑤ 環境文化芸術スポーツ活動支援

国土交通大臣杯全国離島交流中学校野球大会に参加する屋久島選抜チームのユニホーム代の一部助成及び応援横断幕を贈呈した。

- ・屋久島選抜チーム大会結果：21チーム参加中第3位

また、全国離島交流中学校野球大会屋久島選抜チーム選手選考大会「第2回まるりんカップ」を開催した。優勝：岳南中学校

#### (4) 屋久島地域づくり支援事業

##### ① エコツーリズム支援

- ・主体：「屋久島里めぐり推進協議会」（屋久島町，財団，参加集落）
- ・目的：屋久島における山岳部へ集中する観光のあり方を見直し，屋久島の里地へ観光の幅を広げ，新たな観光と地域振興の仕組みづくりを進める
- ・参加集落：吉田集落，宮之浦集落，春牧集落，平内集落，中間集落
- ・24年度実績：ホームページの開設，年間を通して計10回123人を案内  
[吉田2回，宮之浦3回，春牧2回，平内1回，中間2回]

##### ② 地域づくり支援

地域づくりを支援するため，イベントや地域活動等に対し支援を行った。  
イベント枠(5万円/2団体,10万円/1団体)，屋久島まるごと活性化事業枠(100万円/1団体)，  
地域活性化枠(10万円/1団体)

実施主体	事業内容	開催日
超自然屋久島ツアーデーマーチ実行委員会	第19回超自然ツアーデーマーチ	5月12日～13日
やくしま夏祭り実行委員会	平成24年度やくしま夏まつり	7月21日
屋久島ご神山祭り実行委員会	第30回屋久島ご神山まつり	8月18日～19日
屋久島町まちづくりタスクフォース	屋久島文化村構想に沿った地域づくり事業	
一湊青年はめつけ隊	一湊集落ウォーキングコースづくり事業	

##### ③ 屋久島新特産品開発プロジェクト事業

新特産品開発を行っている団体の開発支援や物産展への出店助成等を行った。  
屋久島新特産品開発への支援

実施主体	事業内容
宮之浦加工グループ	ぽんかんたんかんパッションフルーツゼリー3個用パッケージの開発
市橋農園・有限会社原の里	関西かごしまファンダー出店への支援
伝統料理教室の開催	7月9日 参加者 34人

#### (5) 国際交流事業

##### ① 屋久島とニュージーランドとの交流支援

屋久島町が姉妹木盟約を締結しているニュージーランドのファーノース及びカイパラ地区との相互交流を図るため，島内中学・高校生が渡航する際に必要な経費の一部の支援を行った。

##### ② 鹿児島大学留学生ホームステイ受入事業の実施

鹿児島大学に留学中の外国人留学生(10名，受入家庭：平内集落)が屋久島でのホームステイを通して屋久島の文化や暮らしを体験しながら島民と交流し異文化交流を図った。  
島民にとっては留学生との交流を通して海外への興味を持つとともに，自分たちの住む屋久島を見つめ直す機会となった。

## (6) 屋久島環境文化村中核施設管理運営等事業

屋久島環境文化村中核施設である環境文化村センター及び環境文化研修センターの管理運営業務を県から受託し、その適切な管理を行うとともに、ポスター等を自前で作成するなど、経費節減による効率的な運営及び施設設備の補修等の維持管理にも努めた。

また、財団設立20周年を記念し、「財団設立20周年記念事業」を実施した。

### ① 開館16周年記念事業

〈村センター〉

内 容	開 催 日	参加者
島民感謝デー（無料観覧）	平成24年7月14日～31日	148人
まるりん撮影会	〃 7月29日	100人
オリジナルうちわ作り	〃 7月29日	120人
簡単！わくわく理科工作	〃 7月29日	130人
映画会Ⅰ「はやぶさ」（大人向）	〃 7月28日	32人
映画会Ⅱ「おまえうまそうだな」（親子向）	〃 7月29日	102人

〈研修センター〉

内 容	開 催 日	参加者
ワクワク理科体験 （日食メガネ、シロウキャンドル、空き缶ランプ、 スライム、牛乳パック手芸）	平成24年 5月20日	241人
映画会Ⅱ「おまえうまそうだな」（親子向）	〃 7月28日	22人

### ② 交流ホール貸出展示

内 容	開 催 日
屋久島の花の原画展	平成24年 5月12日～ 5月22日
屋久島の水中展	〃 5月22日～ 6月 6日
屋久島民具展（財団特別企画展）	〃 7月12日～ 7月30日
絵手紙展示会	〃 8月 1日～ 8月19日
貝の展示会	〃 8月25日～ 9月 5日
写真展「原始回帰への旅」	〃 9月 6日～ 9月30日
屋久島レクレーションの森小中学生作文展	〃 11月 1日～11月11日
昭和の姿～安房・宮之浦～写真展（財団特別企画展）	〃 11月15日～12月 2日
山本幸一版画展	〃 12月 7日～12月27日
九州地区アクティブ・レンジャー写真展	平成25年 2月22日～ 3月 7日
日下田紀三氏監修写真展「里は春色」 （財団特別企画展）	〃 3月19日～ 3月31日

### ③ 中核施設利用者の状況

ア 屋久島環境文化村センターの状況

【入館者数】

(単位：人・%)

区 分	22年度	23年度	24年度	対前年度同期比
入 館 者 数	57,898	51,747	62,146	120.1%
うち有料観覧者数	29,606	29,949	24,709	82.5%

【その他施設の利用状況】

施 設 名	利用回数(延べ日数)
レクチャー室	66回(78日間)
交流ホール	11回(168日間)
大型映像ホール	3回

イ 屋久島環境文化研修センターの状況

【利用者数】

(単位：人・%)

区 分	22年度	23年度	24年度	対前年度同期比
利 用 者 数	5,359	6,933	7,053	101.7%

【その他施設の利用状況】

施 設 名	利用回数(延べ日数)
視聴覚室	1回(1日)
レクチャー室	10回(10日)

④ 屋久島環境文化財団設立20周年記念事業

① 屋久島環境文化村構想20周年記念シンポジウムの開催

文化村構想の策定に携わった当時の委員の方々に策定当時を振り返っていただくとともに、これからの屋久島を担う若者による将来への展望を語っていただきながら、屋久島のあるべき姿につなげる契機とした。

- ・日時 平成24年11月5日(月)13:00～16:00
  - ・場所 屋久島環境文化村センターレクチャー室(参加者80名)
- 〈プログラム〉

○開会の挨拶

井形 昭弘 公益財団法人屋久島環境文化財団理事長  
伊藤祐一郎 鹿児島県知事(新川環境林務部長代読)

○Ⅰ部「屋久島環境文化村構想策定時の議論とこれまでの歩みを振り返る」

基調報告「屋久島環境文化村構想20年の歩み」

則久 雅司 鹿児島県自然保護課長

パネルディスカッション

小野寺 浩 鹿児島大学客員教授

井形 昭弘 屋久島環境文化財団理事長

日下田紀三 写真家 屋久島セミナー主宰

佐藤 未歩 「屋久島ヒトメクリ」編集・発行人

○Ⅱ部「将来への展望，屋久島に対する想い」

#### ワークショップ

井坪 美紀 屋久島エコツアーなないろの虹代表  
岩川 卓誉 屋久島町職員  
日高 貴路 屋久島町商工会青年部副部長  
日高 龍真 就農認定者  
真辺 悠平 屋久島高等学校環境コース2年  
永岡 知子 屋久島環境文化財団職員  
(議長)  
根建 心具 屋久島環境文化村中核施設館長

#### ○閉会の挨拶

荒木 耕治 屋久島町長

#### ② 屋久島環境文化財団設立20周年記念誌の発行

・平成25年3月発行 ・印刷部数 500部

#### ③ 感謝状の贈呈

・7個人，9賛助企業(7件)に感謝状贈呈(平成25年2月1日(金)理事会終了後)

### 【収益事業】

#### (1) 書籍物品等販売事業

財団の収益を確保し，公益目的事業を推進するため，各種財団法人屋久島環境文化財団オリジナルグッズ(カレンダー，てぬぐい，携帯ストラップ等)や屋久島関連書籍等の販売を行った。

また，24年度は販売収益の中から，屋久島山岳部利用対策協議会へ，屋久島山岳部保全募金として20万円を寄付した。

### 【法人会計事業】

#### (1) 財団管理運営事業

##### ① 環境文化村構想の普及啓発

環境文化村構想を普及するため，「財団パンフレット」や「文化村センターリーフレット」を配布した。

また，近畿屋久島会幹事会(7月22日：大阪市)，第8回関西鹿児島ファンデー(7月22日：大阪市)，中部屋久島会総会(4月29日：名古屋市)，近畿屋久島会(11月18日：大阪市)などの出郷者会において，環境文化村構想の普及啓発を行った。

##### ② 効率的な管理運営の推進

効率的な管理運営や施設の利用促進のための広報活動の一環としてポスターを島内施設に掲示し，環境保全募金活動の展開や賛助企業の拡大に向けた業務推進に努めた。

##### ③ 理事会・評議員会の開催

財団の理事会(5回)，評議員会(5回)を開催した。

また，公益財団法人として，自立的運営能力向上を図るため，引き続き基本財産の適正運用による収入増に努めた。